

南北戦争 資料

(1) 教派の分裂

The Methodist Episcopal Church
The Methodist Episcopal Church, South
↓
The United Methodist Church (1968年)

The United Presbyterian Church in the U. S. A.
The Presbyterian Church in the United States (Southern Presbyterian Church)
↓
Presbyterian Church (U. S. A.) (1983年)

The Northern Baptist Convention→American Baptist Church
Southern Baptist Convention

(2) 南部の「見えざる国教」

創世記9章18-27節(25節以下)

カナンは呪われよ
奴隷の奴隷となり、兄たちに仕えよ。
また言った。
セムの神、主をたたえよ。
カナンはセムの奴隷となれ。
神がヤフェトの土地を広げ
セムの天幕に住ませ
カナンはその奴隷となれ。

拙論「『アメリカ学派』の人種研究と奴隷制論争：19世紀前半における科学と宗教」井門富二夫
編『アメリカの宗教伝統と文化』アメリカの宗教・第一巻、大明堂、1992。

(3) 北部の「見えざる国教」＝リンカーンの信仰

参考文献：鈴木有郷『アブラハム・リンカーンの生涯と信仰』教文館、1985。

Reinhold Niebuhr

「リンカーンの宗教的確信は、その深さにおいても、その純粋さにおいても、彼と同時代の政治的指導者の誰よりも優れていたばかりでなく、その時代のいかなる宗教的指導者よりも優れていた。」

Sydney Mead

「リンカーンはアメリカ史における霊的中心 (spiritual center) である。」

ニュージャージー州議会で行った演説 (1861 年)

もしも私が「偉大な神の摂理の貧しい器」として、また「神によって選ばれつつあると言っ
てまず間違いのない国民」 (God's almost chosen people) の器として、あの独立戦争にかか
げられた目的を今達成することに貢献できるとするならば、私にとってこれほど幸福なことは
ありません。

ゲティスバーグ演説 (1863 年)

八七年前に、われわれの祖父達は、自由の精神にはぐくまれ、すべての人は平等につく
られているという信条に捧げられた、新しい国家を、この大陸に打ち建てました。

現在われわれは一大国内戦争のさ中にあり、これによりこの国家が、あるいはまた、こ
のような精神にはぐくまれ、このように献げられたあらゆる国家が、永続できるか否かの
試練を受けているわけであります。

ここで戦った人々が、これまでかくも立派にすすめてきた未完の事業に、ここで身を捧
げるべきは、むしろ生きているわれわれ自身であります。われわれの前に残されている大
事業に、ここで身を捧げるべきは、むしろわれわれ自身であります。 それは、これ
らの名誉の戦死者が、最後の全力を尽くして身命を捧げた、偉大な主義に対して、彼らの
後を受け継いで、われわれが一層の献身を決意するため、これら戦死者の死を無駄に終わ
らしめないように、われらがここで堅く決心するため、またこの国家をして神のもとに、
新しく自由の誕生をなさしめるために、そして、人民による、人民のための、人民の政治
を地上から絶滅させないため、であります。

第二期目の大統領就任演説 (1865 年)

両者とも戦争が現在のように拡大し継続するとは予期していませんでした。この戦いの
終結とともに、あるいはそれ以前に、この戦いの原因となったものが消滅しようとは、両
者とも予期しませんでした。 両者とも同じ聖書を読み、同じ神に祈り、そして各々
敵に打ち勝つために神の助力を求めています。 両者の祈りが双方とも、聞き届けら
れるということはありませんでした。彼の祈りも私の祈りもそのままには聞き届けられ
ませんでした。

全能の神は彼自らの目的を持ちたまいます。 われわれがひたすら望み、切に祈る
ところは、この戦争という巨大な筈が速やかに過ぎ去らんことであります。しかし、もし
神の欲し給うところが、奴隷の 250 年にわたる報いられざる苦役によって蓄積されたすべ
ての富が絶滅されるまで、また鞭によって流された血の一滴一滴に対して、剣によって流
される血の贖ないがなされるまで、この戦争が続くことであるならば、三千年前に言われ
た如く、今日なお「主の審きは真実にしてことごとく正し」と言わねばなりません。